

福祉公社通信



2月号

発行日

平成 29 年 2 月 10 日

【第 47 号 (月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

福豆が春を招く二月です。

寒風に耐える凜とした梅花に季節を感じますが、立春を過ぎ、浅き春が少しずつ万物を春色に整えて行きます。

しかし、余寒もまだまだ続く折柄、皆様にはご自愛ください。



<紙面から>

市民後見人養成講座 ……1ページ

みどりの輪報告・新春行事報告 ……2ページ

囲碁将棋大会・年末行事報告 ……3ページ

お知らせ・リレーコラム ……4ページ

7市社会福祉協議会・福祉公社合同市民後見人等養成基礎講習



成年後見人等の担い手は多様です。弁護士や司法書士、社会福祉士等の専門職後見人、本人の家族である親族後見人等々、その中間に市民後見人が位置します。社会貢献の志から市民的視座で後見実務に携わる方々です。

2025年には認知症高齢者数が700万人になると推定されています。身上配慮と財産管理を十全に行い、憂いなく老後生活を送れるようにサポートするためには、成年後見人等の担い手の育成が急務です。そこで、現在、市民後見人等の候補者が全国で積極的に養成されています。

市の成年後見推進機関である福祉公社は、近隣の推進機関（三鷹市、小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、東村山市の各社会福祉協議会）と協働し、1月より後見人等の候補者となる市民を養成する「7市社協・福祉公社合同市民後見人等養成講習」を開催しています。

今回は2回目の開催で、講習は後見人等の職務に必要な知識と技術を習得するため6日間のプログラムで構成されています。制度の基本をはじめとして、認知症・精神障がい・知的障がい分野の知識や対人援助技術、そして実務者による講義等、多彩な内容となっています。

地域福祉権利擁護事業の安藤雅友生活支援員の感想です。

生活支援員として活動し1年が経ちました。「もっと知識を、実務能力を！」とその延長線上にある市民後見人の講習を受講させて頂きました。実務上の知見はもとより、多種なジャンルの講義から「成年後見は人生の学校。障がい者、認知症高齢者は私達と変わらぬ一個の人間。多様な社会の構成員として尊重する」と言うヒューマニズムが通奏低音となり、私には響いてきました。

権利擁護センターは法人後見の受任や申立支援のみならず、このように後見実務を重層的に支える人材の育成にも積極的に取り組み、市民の皆様の心安らかな老後生活を支えます。

お問い合わせ 福祉公社権利擁護センター ☎ 0422-23-1165

家族介護支援教室 みどりの輪 「いまさら聞けない葬儀の話」

地元のナガノ葬祭・三浦友光社長を講師にお迎えし、詳細な手作りレジメ「ご自身や大切な人のもしもの時のために」とパンフレット「知らないと損をするお葬式の知識」をテキストに、残された人がなすべきことを学びました。



講座は、①生前に出来る用意、②逝去時にすること、③葬儀形式の決定、④葬儀後に必要なことの4場目に分けて解説されました。豊富な経験に裏打ちされた実用的な内容でした。

三浦講師のゆったりとした優しい語り口から、人生の締め括りとして、心を込めて故人を送ることの厳粛さや感謝、人としての義務等を改めて考えました。25名のご参加者が熱心に受講しましたが、「遺骨供養の方法が大変参考になった」「一度は聞いておきたいことで良かった」「とても勉強になった。家に帰ってノートに整理する」「高齢なので助かります」とご好評を頂きました。

みどりの輪ではこれからも実生活に役立つ講座を開催し、自立と自律の老後生活を支援します。

新春行事



餅つき大会



高齢者総合センターデイサービスセンター恒例の新春行事を開催しました。

新型ノロウイルスの流行で懸念されましたが、「お餅をつくだけでも…」と言うご利用者の強いご要望のもと地域交流会として実施しました。

冬期感染症流行の報道からか、当日は例年より少ない親子2組が参加され、6歳の着物姿の女の子とお母様、4歳の男の子とお父様が、「よいしょ！よいしょ！」と大きな声援を受けて杵を取りました。女の子は2年前にも参加していて、その可愛らしい成長ぶりには目を見張りました。昔取った杵柄！！98歳のSさんは職員の介助を不要とし自力でお餅をつき、拍手喝采を浴びていました。当局の指導により、つきたてのお餅をご提供できませんでしたが、その代わりに白玉ぜんざいをみんなで頂きました。



お母様から「楽しく過ごして元気をもらいました。手作り、手仕事を教わり貴重な体験でした。お役に立てる機会があって嬉しいです」とのお言葉をいただきました。万全の衛生管理で催行しましたが、老若男女、みんなが楽しめる伝統行事が減っていくことが残念です。

来年は従来通りのお餅つきが出来るように願っています。



北町 新年会

1月19日、20日の二日間、新年会を開催しました。昨年1年間、ケアプラン通りに休まず通所なさった6名の皆様に皆勤賞をお渡ししました。また、新春とご利用者の健康長寿を寿ぎ、余興の演目を楽しみました。



かっぽれ



和太鼓 Soh



まごころお祝い膳

境南小学校どんど焼き

1月15日境南小学校のどんど焼きにふれあいサロン受講者の皆様が参加しました。

また水墨画と苔玉作りの講座を開催し、地域の小学生やその保護者の方々と楽しく世代間交流をしました。真剣な表情で水墨画に取り組む児童とそれを見守る若いお母さん、苔玉を手にして喜ぶ親子、新春のこころ温まる情景でした。





新春 将棋・囲碁大会



高齢者総合センターにて1月27日に将棋大会、1月31日に囲碁大会が開催されました。将棋大会24名、囲碁大会60名のご参加があり、それぞれ4局ずつ、白熱した対局が繰り広げられました。

緊張感漂う対局

将棋大会の優勝者は岸洋司氏、囲碁大会優勝者は級位クラスの部・櫻井英雄氏、初段から三段の部・原勝美氏、四段以上の部・澤田潤氏でした。皆様、おめでとうございます。

開催に際し、毎度のことながら、大会役員の皆様にご尽力を賜りました。誠にありがとうございます。



囲碁大会



将棋大会

高齢者総合センターには3階に囲碁将棋コーナーがあります。60歳以上の方なら、どなたでもご利用でき、昨年度は延べ12,103名がいらっしやいました。

是非お立ち寄りの上、盤上の格闘技で同好の士と交流し、親睦を深めて下されば幸いです。

年末行事報告

北町高齢者センター クリスマス会

12月15日に開催しました。

余興に元宝塚歌劇団雪組の北山里奈さんと花組の舵一晴さんを迎え、懐かしい昭和メドレーの熱唱を楽しみました。

華やかなパフォーマンスに、ご利用者Aさんは「ダンスをこんなに間近で観られて！今夜は興奮して眠れないわ！！」、「昔、ファンだったのよ」と大感激。アンコールは♪すみれの花♪、宝塚を堪能しました。



高齢者総合センター クリスマス会

12月22日、総勢82名が参加した賑やかな会でした。社会活動センター講座の現役・OBによるバイオリン演奏や手品、コーラスグループのハーモニーに感動し、職員の出し物では笑いが絶えませんでした。サンタ役のご利用者にどこから来たのか尋ねると「ふぐすま（福島）。一同爆笑。ご利用者やご家族ボランティアさん、学生、寅さんに扮した理事長の出番もふんだんにあり「和気あいあい★みんなのクリスマス会」となりました。



社会活動センター クリスマスコンサート



12月9日に高齢者総合センター「ミュージカル体験講座」川島豊講師の歌唱、黒田聡子講師のピアノによるコンサートが開催されました。

2部制で開催し、1部が96名、2部が104名、総勢200名が観覧しました。



導入曲のトワ・エ・モアから講師の美しい中音域の声が会場内に響きわたり、聴衆を一気に魅了しました。

歌唱のみならず、曲間に披露されるテンポのあるおしゃべりに、会場は大いに沸きました。最後まで聴衆をひきつけてやまないひと時でした。

一足早い、琴線に触れる素晴らしいプレゼントを贈られたと、誰もが思うコンサートでした。

会社からのお知らせ

ご意見を承ります

皆様からのご意見ご要望を承り、今後の紙面の充実に反映していきたいと思っております。宜しくお願ひ申し上げます。

連絡先 総務課 広報担当 ☎23-1165

老いじたく講座

尊厳ある自立と自律の老後生活を構築しましょう

日時 2月27日(月) 13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室

内容 成年後見制度について

問合せ・申込み

在宅サービス課

権利擁護センター ☎ 23-1165



施設介護サポーター養成講座受講者募集

施設のご利用者を支援する上での必要な知識・技術・障がいと認知症の基本を勉強します。老いじたくの基本も学べます。

日程 2月9日(木)から2月28日(火)

場所 北町高齢者センター2階会議室ほか

問合せ・申込み

北町高齢者センター ☎54-5300

参加費
無料

職員リレーコラム

第33回 《父が要介護者になって思ったこと》

総務課 石川 弘美

昨年の11月半ば父が腰椎の圧迫骨折をしました。一人では歩けなくなり私の娘(父からみたら孫)が通院介助、買い物同行等身のまわりを担当。私は介護保険の申請、病状の把握、主治医や担当ケアマネジャーとの連絡調整など、二人で分担し何とか日々をやり過ごしました。

認定結果は要介護1。職場のケアマネジャーから利用可能なサービスのアドバイスをもらい、担当ケアマネジャーからは主治医との連絡調整等の対応を教えてもらい、在宅介護をスタートさせました。福祉職場にいますので、様々な事例を見聞きし、研修で学び、自分では解っているつもりでいましたが、実際に家族に介護が必要になった時、介護サービスの使い方や申請のノウハウ等々分からなかったことが多く、本当に大変でした。この経験を活かして、皆様からのお問合せに懇切丁寧に対応できるよう、仕事に役立てていきたいと思ひます。

⇒ 次回は 権利擁護センター 宮地 紀子

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成29年3月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>